



ぱんだぐみだより



2026年3月2日発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園と那原ベアーズ2
発行者：

【今月のねらい】

- ◎冬から春への自然の変化を感じながら、戸外でからだを動かす。
→散歩を通して、草花や生き物に触れる。
- ◎4・5歳児のあそびに参加し、年下の友だちと触れ合いを楽しむ。
→4・5歳児と一緒に体を使ったふれあい遊びをし、交流を楽しむ。



～ぱんだぐみさんの様子～

「あとちょっとできりん組さんになるよ！」一つ上のクラスになることに、期待が膨らんでいる子どもたちです。4月の頃からぐっと成長して、自分のことは自分でできるという自信や、友だちとも気持ちを伝えながら遊べるようになった心の発達を、私たち保育者も日々感じ、嬉しく思います。進級への楽しみ、嬉しさのなかにある不安な気持ちにも寄り添いながら、残りの1ヵ月、笑顔で過ごしていけるように日々の保育を心掛けていきたいと思っております♪何か気になる点がありましたら、気軽に声をかけてくださいね。

お知らせ

～進級体験について～

・卒園式を終えた週から、進級体験のため保育室の引越しが始まります♪日時につきましては、きまり次第お知らせします。保育室のお引越しにむけ、名前のない衣服などをぱんだ組の窓に貼っていますので、確認をお願いします。



🌸 ぱんだ組さんでの生活も残り1ヵ月となりました！

元気いっぱいのぱんだ組さんといっしょに楽しく毎日を過ごすことができました！「こんなして一緒にやってみよう」と友だちと協力して、輪が広がっていく姿を見て、いつも心が温まりました。これからも、みんなで力を合わせて様々なことを乗り越えていけると思います♪

1年間、子どもたちのために様々なご協力ありがとうございました。



～こどもたちのつぶやき～

ある日、畑で遊んだ日のこと。子どもたちが丸くなって地面をじっと見つめていました。いもむしを見つけたようです。

「今、さわったらだめだよ。」「ごはん食べさせよう」「うわ、うごいた！」

「つついたらいたいってよ」と、いもむしの気持ちを想像する声も聞こえてきました。

そっと落ちていた小さな球根を見つけて置き、「どうぞ」とつぶやく姿や、体を丸めていもむしの動きをまねる子もいました。小さな命に向き合いながら、やさしさや思いやり、命を大切にしようとする心が、確かに育っていることを感じたひとときでした。

